

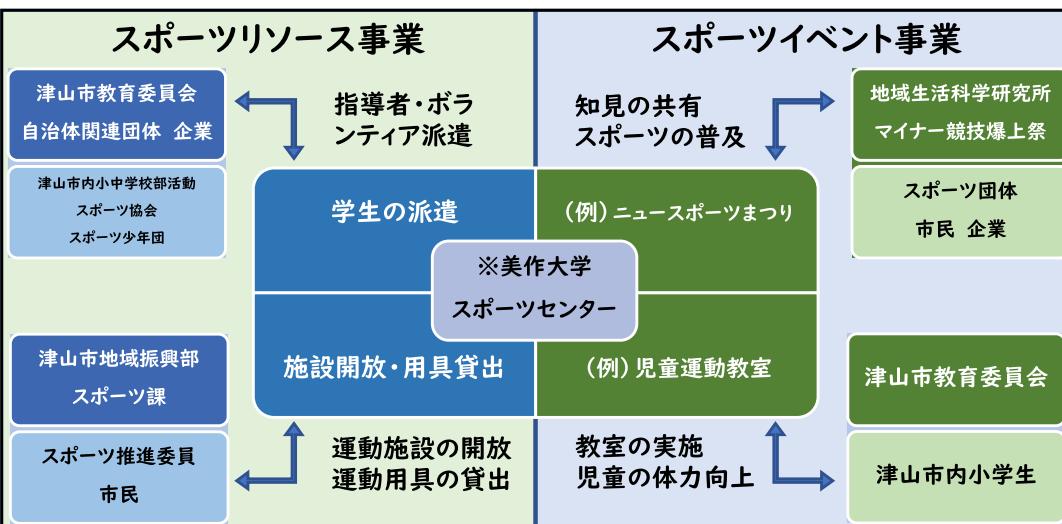
③大学スポーツ資源を活用した地域振興モデル創出支援事業 企画提案書（事業概要資料）

実施計画名	美作大学スポーツプラットフォームの構築～スポーツでつながろう～
事業概要	<p>本事業では、津山市の施策推進の方策4項目（『生涯スポーツの推進』、『スポーツ環境の整備』、『競技力向上』、『スポーツを通じた地域の活性化』）に焦点を当てスポーツプラットフォームを構築し、課題解決に資する取組として2つの事業を実施する。</p> <p>①スポーツリソース事業 スポーツ少年団や学校部活動、地域クラブ活動の存続や円滑な運営に寄与するため、大学の部活動・サークル活動に所属している学生を派遣するとともに、大学の運動施設の開放、運動用具の貸出を行う。</p> <p>②スポーツイベント事業 地域住民の多様なスポーツ機会を創出するため、美作大学を主催とするスポーツイベントを実施する。主なイベントは、ニュースポーツまつり（11月実施予定）、児童運動教室（年30回を予定）、ピックルボール大会（12月実施予定）、ピックルボール教室（未定）。</p>

■対象地域が抱える課題

対象地域	岡山県（津山市近隣）
I	人口減少や指導者の高齢化によりスポーツ団体の継続が困難な状況であり、大学の人的資源である学生が地域に出ていくシステムづくりが必要である。
II	市民が市の運動施設や用具を利用する回数が減少しているため、大学の物的資源である施設の開放と運動用具の貸出を積極的に進める必要がある。
III	市民が気軽にスポーツをすることができる機会が少ないため、誰もが気軽に多様なスポーツを親しむイベントが必要である。
IV	少子化に伴い、中学校部活動の地域移行が進み、子どもの体力低下や運動する子とそうでない子の2極化が顕著になることが予想され、子どもたちのニーズに応じた多様な活動機会が必要である。

■事業の実施体制図（学内体制に留まらず、地域の組織・団体との連携体制も示すこと）



■具体的なプログラム・活用する大学スポーツ資源

- ①スポーツリソース事業（主な課題Ⅰ、Ⅱ）
 - 日 時：令和7年9月より随時
 - 開催場所：大学、津山市内
 - 対 象 者：津山市内小中学校、地域スポーツ協会、スポーツ少年団、市民、企業
 - 資 源：運動部・サークル在籍者数のべ約280名、運動施設開放、運動用具貸出
- ②スポーツイベント事業
 - ・ニュースポーツまつり（主な課題Ⅲ）
 - 日 時：令和7年11月2日（日）
 - 開催場所：美作大学アリーナ、サブアリーナ、グラウンド、教室等
 - 対 象 者：津山市民500名
 - 資 源：児童学科の学生スタッフ100名
 - ・児童運動教室（主な課題Ⅳ）
 - 日 時：毎週火曜日
 - 開催場所：美作大学アリーナ、グラウンド
 - 対 象 者：津山市内小学生
 - 資 源：体育教員2名、美作クラブ学生20名
 - ・ピックルボール大会・教室（主な課題Ⅲ、Ⅳ）
 - 日 時：教室6月より毎週火曜日、大会は未定
 - 開催場所：教室は美作大学アリーナ、大会は美作大学アリーナ、外部施設
 - 対 象 者：小学3年生以上
 - 資 源：指導資格をもつ大学教員3名、ピックルボール部学生30名

■期待される事業結果・効果

- I 地域と学校との連携強化（KPI：地域スポーツ団体への学生派遣人数）
【スポーツリソース事業による地域スポーツに関わる学生100名以上を目指す】
- II 市民の運動機会の向上（KPI：大学の施設利用者数、運動用具貸出者数）
【大学の施設利用者数+運動用具貸出者数の合計、年間100名以上を目指す】
- III 多様なスポーツ機会の創出（KPI：イベント来場者数、リピート率）
【（例）ニュースポーツまつりへの参加者500名、リピート率30%以上を目指す】
- III 子どもの体力向上（KPI：新体力テスト総合評価のスコア）
【児童運動教室参加者の新体力テスト総合評価C以上の90%を目指す】